

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」  
実社会対応プログラム最終評価結果表

課題(研究領域)	規制改革の評価分析
研究テーマ名	規制改革圧力下における混合診療拡大の方向性
研究代表者	加藤 智章
所属機関・部局・職	北海道大学・大学院法学研究科・教授
研究成果の総合評点：	A
研究成果に係る所見	<p>混合診療について、保険制度を中心として研究が進められ、様々な課題がそれなりに明らかにされた。今後の対応を検討する上での問題点が整理されたことが研究成果とも言え、重要な一歩が踏み出されたものと評価する。研究成果を具体的な提言へ繋げていきたい。</p> <p>また、今後、本研究の実施方法や調査結果、研究成果等について、書籍の刊行や学会発表にとどまらず、ホームページでの公開等にて積極的に発信し、広く成果の普及を図りたい。</p>

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記の通り。

- S. 事業の目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 事業の目的に照らして、十分な成果があった
- B. 事業の目的に照らして、相応の成果があったとは言い難い
- C. 成果がなかった